

愛知の幼児教育指針

内 容

はじめに

1 基本理念

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うものです。

幼児は、主体的・自発的に環境と関わりながら遊んだり生活したりする体験を通して、生きる力の基礎となる心情・意欲・態度を身に付けていきます。

その上で、本県においては、「愛知の教育に関するアクションプランⅡ」の目指す「愛知の人間像」を実現するための基盤として「自らを高めること」と「社会に役立つこと」の視点から、幼児期に育てたい力を掲げ、それらを培う幼児教育を推進します。

2 愛知県の幼児期の教育・保育の現状と課題

〈 現状 〉

◎ 幼児の育ちについて危惧されること

- ・ 思い通りにならないとき、我慢する力が弱くなってきている。
- ・ 実体験が乏しくなっている。
- ・ 相手の気持ちを察することができにくくなっている。など

◎ 幼児を取り巻く環境について

- ・ 幼保小連携について、連絡会をもつ学校（園・所）は多いが、互いの教育内容について理解し合うまでは至っていないところが多い。
- ・ 特別な支援を必要とする幼児を受け入れている幼稚園や保育所が増えているが、幼稚園保育所により、取組の状況に違いがある。
- ・ 幼稚園・保育所の5割以上の保護者が、子育てについての悩みや不安を感じ、保護者や保育者は地域の人々との関わりが少ないことや、戸外での安全確保が難しいことなどが、幼児の育ちの危うさにつながっていると感じている。など

〈 課題 〉

- 全ての幼稚園・保育所等において小学校入学前に育てたいことを示し、実践すること。
- 幼児期に育った力が小学校につながるよう、幼児教育と小学校教育の連携・接続を強化すること。
- 特別支援教育の推進を図り、適切な支援の実現を目指すこと。
- 保育者一人一人の専門性の向上を図り、課題に対応する力を付けること。
- 保護者が育児への悩みや不安を乗り越えて、子育ての喜びを味わえるようにすること。
- 幼稚園・保育所等と地域や家庭とが協働して、幼児を育てる体制をつくること。

3 幼児期に育てたい力

<自らを高める視点から>

心と体を十分に働かせて生活したり遊んだりする力

豊かな心情

- ・ 信頼できる大人との生活を基盤として、安心感や安定感をもつ。
- ・ 自分の力で行動する充実感を味わう。
- ・ 身近なものや出来事に心を動かし、豊かな感性をもつ。

わきあがる意欲

- ・ 進んで、体を動かして遊ぼうとする。
- ・ 興味や関心のあることに、自分から関わって取り組もうとする。
- ・ じっくりと遊びに取り組み、考えたり試したり、イメージを膨らませたりする。

自立しようとする態度

- ・ 基本的な生活習慣や、安全な生活に必要な習慣を身に付ける。
- ・ よいことや悪いことがあることに気付き、自分で考えて行動する。
- ・ 自分の思ったことを言葉や動きなどで表現する。

<社会に役立つ視点から>

周りの環境に関わりながら、自分の力を発揮し、友達と協同する力

共感する心情

- ・ 友達と気持ちが通じ合ううれしさを感じる。
- ・ 相手の気持ちを察して思いやりをもつ。
- ・ 人の役に立つ喜びを味わう。

共通の目的に向かう意欲

- ・ 互いに考えを出し合い、イメージや目的を共有する。
- ・ 友達と一緒に力を合わせてやり遂げようとする。

協力する態度

- ・ 自己主張したり自己抑制したりしながら、友達の中で自分の力を発揮する。
- ・ 決まりの大切さに気付き、守ろうとする。
- ・ 共通の目的の実現に向けて、一緒に考えたり試したりする。
- ・ 話を聞いたり相手に分かるように伝えたりする。

4 重点目標と具体的な取組

(1) 幼児教育の充実

① 生活や遊びを通じた発達の支援

- 愛情や信頼関係を基盤とした生活を保障する
- 発達を促す豊かな環境をつくる
- 自発的・主体的な活動を支える

② 幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進

- 幼児期の学びがどのように深まり、広がっていくのかを見通す
- 児童期の育ちを見通した教育課程・保育課程を編成する
- 幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿をイメージした教育活動を行う

③ 特別支援教育の推進

- 一人一人の発達の過程や障害の状態を考慮した支援をする
- 支援体制・連携体制の整備をする

(2) 保育者の資質及び専門性の向上

① 研修内容の充実

- 幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づいた保育の実現を目指す研修を充実する
- 今日的課題や多様なニーズに応じた研修を実施する
- 内容、対象に応じた効果的な研修の工夫をする
- 研修内容を、計画、実施、評価、見直しのPDCAサイクルの視点で検証し、改善を図る

② 研修体制の充実

- 幼稚園内・保育所内研修の時間を確保する
- 幼稚園外・保育所外研修で学んだことを保育に生かす
- 幼稚園・保育所同士や幼稚園・保育所と小学校との合同の研修を推進する

(3) 家庭や地域社会との連携の推進

① 家庭教育への支援

- 保護者が、子育ての喜びや楽しさを実感できるようにする
- 長時間保育、預かり保育の在り方の検討をする

② 地域で子どもを育てる機運の醸成

- 幼児を核として、保護者や地域との連携づくりをする
- 地域全体で子どもを育てる体制をつくる

資料（「現状と課題」調査データ）

